

【現代心理学部】2022年度入学者向け履修要項(2022年度配付)訂正・変更一覧

(2025年3月19日時点 訂正・変更一覧)

* 全学共通科目の訂正・変更については、以下の「全学共通科目 訂正・変更一覧」を確認すること。

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと ※冊子PDFに赤字で訂正を反映しています

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと ※冊子PDFには反映をしていません

<2025年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	3	変更	教務事項の伝達について	4 教務窓口	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	15	変更	I カリキュラムのしくみ (RIKKYO Learning Style)	2 科目ナンバリングについて 2. 全学共通科目のナンバリング	①科目の設置学部学科(専修)・研究科を示すアルファベット3文字 【変更前】 ポルトガル語 ↓ 【変更後】 ポルトガル語(ブラジル)
3/19	21	変更	II 授業(学習生活)	6 補講	【変更前】 教務部掲示板および以下の場所で発表する。 ↓ 【変更後】 教務部掲示板で発表する。 (インフォメーションボード等削除)
3/19	27 28	変更	III-2 履修規定 履修についての注意事項	9 他学部等科目の履修について	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること
				10 派遣留学生・認定校 留学生の履修	複数の変更が生じているため、この項目は2025年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること

3/19	32	変更	III-3 履修規定 単位認定	2 休学留学制度による 単位認定	<p>【変更前】</p> <p>大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり<u>認定される</u>。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>大学間協定に基づく派遣留学、認定校留学、大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」で「休学留学」を選択した学生が留学先大学で修得した単位は、国際センターへの成績証明書の提出と全学共通カリキュラム運営センターの審議により以下のとおり<u>認定される</u> <u>場合がある</u>。</p>
3/19	43-55 111-122 147	変更	<p>VI 試験・成績</p> <p>博士課程前期課程</p> <p>IV 試験・成績</p> <p>博士課程後期課程</p> <p>V 試験・成績</p>	項目全体	<p>「試験に関する規定」「試験方法」「追試験」「試験時間重複特別試験」「成績」に関する ことなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること</p>
3/19	57	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	<p>項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること</p>
3/19	61 129 151	変更	<p>VIII 学籍・学費</p> <p>博士課程前期課程</p> <p>VII 学籍・学費</p> <p>博士課程後期課程</p> <p>VII 学籍・学費</p>	6 再入学 5 再入学	<p>項目全体を通して複数の変更が生じているため、この項目は 2025 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること</p>
3/19	67	変更	X 5 大学間単位互換制度（通称 f-Campus）	項目の追加	<p>5. 履修中止</p> <p>f-Campus 科目は履修中止申請が認められない。 (以降項番修正)</p>
3/19	73	変更	心理学履修規定	2. 選択科目 学科選択科目 A (演習)	<p>【変更前】 (3)</p> <p>・前年度 1月下旬 にゼミ希望届を提出する（提出方法については学科から追って連絡がある）。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】 (3)</p>

					・前年度 2月中旬 にゼミ希望届を提出する（提出方法については学科から追って連絡がある）。
3/19	75 76	変更	心理学科履修規定	6. 卒業論文の選択について	<p>【変更前】（2）</p> <p>※「卒業論文テーマおよび指導教員届」を提出しないことで、「卒業論文非選択」とすることが確定する。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】（2）</p> <p>※「卒業論文」の履修・単位修得を行わない場合は、「卒業論文テーマおよび指導教員届」に「卒論非選択」と明記して提出することで、「卒業論文非選択」とすることが確定する。</p>
3/19	84	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目 C（専門展開科目）	<履修上の注意>（3）の記載を削除
3/19	102	変更	博士課程前期課程 授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	項目の追加	1 1 全学共通科目の履修について （以降項番修正）
3/19	105	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 II 履修規定	6. 学部科目	文末に「なお、学部科目は随意科目となり、修了要件単位に算入されない。」を追加
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 V 修士論文	7. 修了制作審査基準	「審査基準」において以下の文言の追加 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	137	変更	III 臨床心理士	2. 資格取得の流れ	<p>【変更前】</p> <p>臨床心理士養成に関する指定大学院（1種・2種）または専門職大学院を修了し、年に一度行われる日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格することで資格を得る。なお、立教大学大学院は、第1種指定大学院（修了後の心理臨床経験不要）に指定されている。</p> <p>↓</p> <p>臨床心理士養成に関する指定大学院（1種・2種）または専門職大学院を修了し、年に一度行われる日本臨床心理士資格認定協会の資格試験に合格することで資格を得る。なお、立教大学大学院は、第1種指定大学院（修了後の心理臨床経験がなくても資格試験を受験可能）に指定されている。</p>
3/19	144	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程	単位制度	【変更前】 単位制度については、「博士課程前期課程履修

			II 履修規定		規定その他注意事項II履修規定 1. 単位制度」を参照すること。 ↓ 【変更後】 単位制度については、「博士課程前期課程履修規定その他注意事項II履修規定 1. 単位制度 2.単位の考え方 」を参照すること。
--	--	--	---------	--	--

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/19	2 3	変更	教務事項の伝達について	1 掲示 2 教務関連 Web サービス 3 緊急時連絡 4 教務窓口	各項目の掲載リンク、授業支援システムなどに変更が生じているため、この項目は 2024 年度履修要項で確認すること。
3/19	15	変更	1 カリキュラムのしくみ 2 科目ナンバリングについて	2. 全学共通科目のナンバリング	言語系科目のナンバリングに複数の追加・変更が生じているので、2024 年度履修要項で確認すること。
3/19	21 22	変更	II 授業（学習生活）	4 授業形態 5 休講 8 学校感染症に罹患した場合の措置について	「 授業形態 」など、項目の追加や修正が生じているため、この項目は 2024 年度版の履修要項で確認すること。
	100 101		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		
3/19	24	変更	III-1 履修規定（単位）	2 卒業要件単位	以下の文言を追加 (3) 全授業回の半数を超える授業回を遠隔により実施する科目で修得した単位は、60 単位まで卒業要件単位に含めることができる（遠隔授業 60 単位上限）。60 単位を超えた単位は随意科目となり、卒業要件単位には算入されない。 履修中及び修得した遠隔授業の単位数は、成績参照画面で確認すること。 「遠隔授業 60 単位上限」の対象となる科目は、授業形態により定められる。授業形態については、II 授業（学習生活）を参照
3/19	25 26	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	2 履修登録上限単位数	「 <全学共通科目の履修登録上限単位数> 」において、 言語自由科目（英語）に関する記載を削除
3/19	28	変更	III-2 履修規定（履修についての注意事項）	11 必修科目履修辞退制度	「3. 申出方法」内の「 （新座キャンパス教務事務センターで配付） 」を削除

3/19	38	変更	V 履修登録	3 履修届出方法	「1. 自動登録」(2) ※部分について以下のとおり変更 全学共通科目言語 A (英語) ↓ 全学共通科目言語系科目
			「3. 抽選登録」(2) ⑥部分について 全学共通科目言語自由科目 (英語) に関する記載を削除		
3/19	43-55	変更	VI 試験・成績	項目全体	「試験に関する規定」、「口頭試問」、「レポート試験」、「追試験」に関することなど、項目全体を通して複数の変更が生じているため、 この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	111-122		現代心理学研究科 博士課程前期課程 IV 試験・成績		
3/19	57	変更	VII 卒業に関する事項	5 特別卒業	「1. 特別卒業 (9 月卒業) とは」において 以下の文言を追加 (赤字部分) 3. 申請時において、在学 8 学期目以降の学生であること ただし、在学学期数に関しては、法学部法学科法曹コースの対象学生については、在学 6 学期以降で足りるものとする
3/19	58-61	変更	VIII 学籍・学費	2 休学・復学 6 再入学	「休学中の学費について」、「再入学とは」に複数の変更が生じているので、 この項目は 2024 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	126-129		現代心理学研究科 博士課程前期課程 VII 学籍・学費	2 休学・復学 5 再入学	
3/19	64	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G 副専攻のコース・テーマ	「2. Language & Culture Course」に 以下のテーマを新設 9. Russian Language & Culture 選択した言語の技能を磨くとともに、ロシア語圏の文化や社会への理解を深める。
3/19	73	変更	心理学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目 A (演習)	【変更前】 (3) ・前年度 2 月下旬にゼミ志望届心理学科教育研究支援室に提出する。 ↓ 【変更後】 (3) ・前年度 1 月下旬にゼミ希望届を提出する (提出方法については学科から追って連絡がある)。
3/19	84	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目 B (専門)	【変更前】 (4) 選考通過者で履修初年度春学期を 休学 し

				演習)	た場合は、選考結果が無効になるため、選考を受け直すこと。 ↓ 【変更後】 (4) 選考通過者で履修初年度春学期を <u>休学・休学留学・在学留学</u> した場合は、選考結果が無効になるため、選考を受け直すこと。
3/19	104	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 II 履修規定 (単位認定/他研究科科目等の履修)	1 単位制度 2. 単位の考え方	項目名の変更(赤字部分の削除)および「1. 単位制度」「2. 単位の考え方」の項目追加 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
	144		現代心理学研究科 博士課程後期課程 II 履修規定	1. 単位制度	「1. 単位制度」の項目を追加 2024年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。
3/19	123 124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 V 修士論文	6. 修士論文審査基準	「審査基準」において 以下の文言の追加 〈心理学専攻〉 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈臨床心理学専攻〉 8. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈映像身体学専攻〉 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
	150		現代心理学研究科 博士課程後期課程 V 博士学位申請	5 博士論文審査基準	「審査基準」において 以下の文言の追加 〈心理学専攻〉 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈臨床心理学専攻〉 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること 〈映像身体学専攻〉 7. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 V 修士論文	7. 修了制作審査基準	「審査基準」において 以下の文言の追加 6. 学位授与の方針に定めた知識、能力等を有すると認められること
3/19	124	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 VI 修了に関する事項	3. 特別修了	「3. 特別修了(特別修了(9月修了)(3月修了)申請条件)」において 以下の文言の削除 TESOL-J
3/19	130	変更	心理学専攻	時期	「修士論文構想発表会」「修士論文提出」「修

			博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール		士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、 2024年度履修要項で確認すること。
	134		臨床心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」「修士論文口頭試問・発表会」の時期を修正したため、 2024年度履修要項で確認すること。
	140		映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅰ 研究指導基本スケジュール		「修士論文提出」の時期を修正したため、 2024年度履修要項で確認すること。
3/19	130 134 140	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ 履修規定	1. 単位制度	「1. 単位制度」の項目を削除
3/19	148	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ 博士学位申請	2 博士論文中間報告書【臨床心理学専攻・映像身体学専攻】	<p>【変更前】</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の<u>受理・不受理の決定</u>は、現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p> <p>(6) 中間報告書を<u>受理</u>された者は、博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし、学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し、審査を受けなければならない。中間報告書が<u>受理</u>された学期の翌学期から休学期間を含んで7学期目以降に学位申請論文を提出する場合も、原則として中間報告書を再提出すること。なお、審査の結果<u>受理</u>されなかった場合は、前回の提出から3か月以上を経過し、かつ、研究科委員会の許可があれば再提出することができる。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の<u>受理後、審査結果</u>は、現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p> <p>(6) 中間報告書が<u>承認</u>された者は、博士（課程博士）の学位申請論文提出資格を得る。ただし、学位申請論文の主題や構想が中間報告書の内容と異なる場合は中間報告書を再提出し、審査を受けなければならない。中間報告書が<u>承認</u>された学期の翌学期から休学期間を含んで7</p>

					学期日以降に学位申請論文を提出する場合も、原則として中間報告書を再提出すること。なお、審査の結果 <u>承認</u> されなかった場合は、前回の提出から3か月以上を経過し、かつ、研究科委員会の許可があれば再提出することができる。
3/19	149	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ 博士学位申請	3 博士学位申請	「1. 博士学位申請資格（「博士学位申請論文に関する現代心理学研究科申し合わせ」抜粋）」内の文言を以下の通り変更 【変更前】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>受理</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>受理</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ ↓ 【変更後】 【臨床心理学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>承認</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～ 【映像身体学専攻】 博士論文中間報告書を提出して <u>承認</u> され、所定の単位を修得済みの者で、～
3/19	152 154 156	変更	心理学専攻 臨床心理学専攻 映像身体学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	1 教育課程	「1. 単位制度」の項目を削除
3/19	152	変更	心理学専攻 博士課程後期課程 Ⅰ 履修規定	1 教育課程	「2. 所定単位（修了に必要な単位）」を以下の通り変更 【変更前】 心理学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>下表に示す必要単位数</u> を修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 心理学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>現代心理学研究科博士課程後期課程心理学専攻選択科目から6単位以上</u> 修得しなければならない。
3/19	152	変更	心理学専攻 博士課程後期課程	2 研究課程	「1. 研究指導について」内の「副指導教員の選定について、「研究計画書」に指導教員の氏

			I 履修規定		名を、「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し、それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。なお、副指導教員の決定については、届出をもとに専攻において審議し、伝達することとする。」を削除
3/19	154	変更	臨床心理学専攻 博士課程後期課程 I 履修規定	2 研究課程	「1. 研究指導について」内の「副指導教員の選定について、「研究計画書」に指導教員の氏名を、「副指導教員届」に副指導となることを希望する教員氏名を記入し、それぞれ定められた期間に心理学科教育研究支援室に届け出ることとする。なお、副指導教員の決定については、届出をもとに専攻において審議し、指導教員から担当する学生に対して個別に伝達することとする。」を削除
3/19	156	変更	映像身体学専攻 博士課程後期課程 I 履修規定	1 教育課程	「2. 所定単位（修了に必要な単位）」を 以下の通り変更 【変更前】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>下表に示す必要単位数を</u> 修得しなければならない。 ↓ 【変更後】 映像身体学専攻の教育課程を修了するためには、 <u>現代心理学研究科博士課程後期課程映像身体学専攻選択科目から6単位以上</u> 修得しなければならない。

<2023 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正/変更箇所	訂正/変更項目	訂正前 → 訂正後/変更内容
3/20	2	変更	教務事項の伝達について	2 教務関連 Web サービス	「授業支援システム（Canvas LMS, Blackboard 等）」など、項目の追加や修正がされているため、「教務事項の伝達について」は 2023 年度版の履修要項で確認すること。
3/20	20 21 22	変更	II 授業（学習生活）	2 学期・授業 4 休講 5 補講	休講・補講、学校感染症の周知方法などに変更が生じているため、この項目は 2023 年度版の履修要項で確認すること。 ・学期に 4 半期科目の説明を追加 ・休講情報の掲示場所の文言を修正 ・補講に関する説明および掲示場所を修正 ・学校感染症についての情報掲載場所を修正
	99 100 101		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	

3/20	27	変更	III-2 履修規定 履修についての注意 事項	9 他学部等科目の履 修について	「1. 注意事項」において下記文言を削除 「当該科目を設置している学部等の教務部掲 示板、または」 「2. 履修登録・履修の可否」において以下の 文言を修正 履修要項 → R Guide
3/20	28	変更	III-2 履修規定 履修についての注意 事項	10 派遣留学生・認定校 留学生の履修	「3. 帰国年度の履修登録」において以下の文 言を追加（赤字部分） 5月末日（秋学期は10月末日）まで（末日が 窓口業務を行わない日の場合はその前日まで） に帰国届の提出および履修登録をした場合、 （中略）必ず所属キャンパスの教務窓口を確認 すること。 ※帰国年度の履修登録は帰国届を提出してい ることが前提となる。
3/20	30	変更	III-2 履修規定 履修についての注意 事項	1 2 卒業論文、卒業制 作について 4. 口頭試問	【変更前】 卒業論文、卒業制作提出後（1月下旬～2月上 旬）に、口頭試問を行う。日程等は1月に現代 心理学部掲示板に発表する。春学期に卒業論 文、卒業制作を提出した者は7月下旬に口頭試 問を行う。日程は卒業論文、卒業制作提出受付 後、現代心理学部掲示板に発表する。 ↓ 【変更後】 卒業論文、卒業制作提出後に、口頭試問を行う。 日程等は現代心理学部 Web 掲示板に発表する。 春学期に卒業論文、卒業制作を提出した者は7 月下旬に口頭試問を行う。日程は卒業論文、卒 業制作提出受付後、現代心理学部 Web 掲示 板に発表する。
3/20	40 108	変更	V 履修登録 現代心理学研究科 博士課程前期課程 III 履修登録	4 登録科目の確認に ついて	「1. 登録科目の確認について」で文言の削除 と追加（赤字部分） Blackboard 及びSPIRIT Mobile（mobile- V-Campus）履修登録状況画面以外の時間割は 正式な登録科目の確認には使用できないので 注意すること。

3/20	42	変更	V 履修登録	6 履修中止制度	<p>「2. 申請した科目の扱い」において以下の文言を修正（赤字部分）</p> <p>(1) 成績評価：評価対象とはならない ず、成績通知表には「Q（履修中止）」と表示される。</p>
3/20	43-55	変更	VI 試験・成績	項目全体	<p>「レポート試験」の提出方法が Web のみとなること、各種試験方法の発表場所、「追試験」、「成績評価調査」に関することなど、項目全体を通して大幅な修正が生じているため、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立教大学試験実施全学共通規定」の追加 ・「筆記試験」の入退室について文言を修正 ・「レポート」について提出方法など大幅な修正 ・「成績評価調査」の提出方法について修正 ・その他、試験方法発表掲示など文言の修正
	111-122		現代心理学研究科 博士課程前期課程 IV 試験・成績		
3/20	56 57	変更	VII 卒業に関する事項	項目全体	<p>「スポーツウエルネス学部・研究科」の新設に伴う追記や、「希望留年」（※学部生のみ）、「特別卒業・修了」の記載内容に大幅な変更が生じているため、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望留年（※学部生のみ）の願出書配布・受付・許可者発表を修正 ・特別卒業、特別修了に関する願出書の配布・受付・許可者発表を修正 ・その他文言の修正
	124 125		現代心理学研究科 博士課程前期課程 VIII 修了に関する事項		
3/20	58-61	変更	VIII 学籍・学費	項目全体	<p>「休学願の配付・提出先について」、「休学中の学費について」、「退学」、「学費」に複数の変更が生じているので、この項目は 2023 年度履修要項で必ず最新の情報を確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休学願の配付、提出先に関する修正 ・休学中の学費に関して修正 ・退学願の配付、提出先に関する修正 ・学費通知の発送および延納制度について修正
	125-129		現代心理学研究科 博士課程前期課程 VII 学籍・学費		
3/20	62	変更	IX グローバル教養副専攻	5 G 副専攻のコース・テーマ	<p>「3. Discipline Course」に以下のコースを新設</p> <p>6. Japanese Studies in English Program (仮称) ※2023 年度新設予定</p>

					日本の文化や社会への理解を深め、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化理解を育み、日本と世界を結ぶ国際性豊かな人材となるための素養を身につける。
3/20	73	変更	心理学科履修規定	1. 必修科目	<p><履修上の注意></p> <p>【変更前】</p> <p>(2) なお, 新2年次生の心理学実験実習1・2(心理学実験), 心理学調査実習1・2のクラスは, 履修前年度中に現代心理学部掲示板に発表するので, 各自確認すること。</p> <p>↓</p> <p>(2) なお, 新2年次生の心理学実験実習1・2(心理学実験), 心理学調査実習1・2のクラスは, 履修前年度中に現代心理学部 Web 掲示板に発表するので, 各自確認すること。</p>
3/20	73	変更	心理学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目D (特別講義)	<p>【変更前】</p> <p>学際的領域, 心理学近接諸科学領域での学びを含め, 社会, 企業, 組織, 地域, 家庭におけるさまざまな問題解決のために, 心理学の知識と方法論を応用する能力を身につける。</p> <p>↓</p> <p>学際的領域, 心理学近接諸科学領域での学びを含め, 社会, 企業, 組織, 地域, 家族におけるさまざまな問題解決のために, 心理学の知識と方法論を応用する能力を身につける。</p>
3/20	82	訂正	映像身体学科履修規定	1. 必修科目	冒頭の「1年次に履修し,」を削除
3/20	83	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目A	(基礎演習) <履修上の注意>(3)の記載を削除
3/20	84	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目B (専門演習)	(3)文中に「指定の期日までに」を追加 (4)の記載を削除
3/20	85	変更	映像身体学科履修規定	2. 選択科目 学科選択科目D (卒業論文・卒業制作)	(6)文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	105	変更	現代心理学研究科 博士課程前期課程 II 履修規定(単位認定/他研究科科目等の履修)	2. 派遣留学・認定校留学制度で修得した単位の認定について	左記項目を追加したため, 2023年度履修要項で確認すること。

3/20	131	変更	心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ 履修規定	3. 設置科目区分と履修方法	(1) 必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	135	変更	臨床心理学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ 履修規定	3. 設置科目区分と履修方法	(1) 必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	141	変更	映像身体学専攻 博士課程前期課程 Ⅱ 履修規定	3. 設置科目区分と履修方法	(1) 必修科目 ③文中に「指定の期日までに」を追加
3/20	146	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅱ 研究指導基本スケジュール	4. 研究成果報告書	<p>【変更前】</p> <p>学期ごとに研究成果・指導記録用紙を用いて研究成果報告書を作成し7月と1月の年に二回、新座キャンパス教務事務センターに提出しなくてはならない。研究成果・指導記録用紙は新座キャンパス教務事務センターで配付する。なお、必要な場合は、学術雑誌などに発表した論文の別刷等を添付することができる。研究成果報告書は、休学中を除き、後期課程在学中毎学期作成する。提出期間は R Guide に発表する。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>学期ごとに研究成果・指導記録用紙を用いて研究成果報告書を作成し7月と1月の年に二回、指導教員に提出しなくてはならない。なお、必要な場合は、学術雑誌などに発表した論文の別刷等を添付することができる。研究成果報告書は、休学中を除き、後期課程在学中毎学期作成する。</p>
3/20	148	変更	現代心理学研究科 博士課程後期課程 Ⅴ 博士学位申請	2 博士論文中間報告書【臨床心理学専攻・映像身体学専攻】	<p>【変更前】</p> <p>(3) 博士論文中間報告書の提出期限は現代心理学研究科掲示板に掲示する。なお、後期課程に在学中で、その年度内に学位申請論文を提出する見通しが立っており、研究科委員会が事前に許可した者は、春学期末を目処に中間報告書を提出することができる。</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の受理・不受理の決定は、現代心理学研究科掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>(3) 博士論文中間報告書の提出期限は R Guide に掲示する。なお、後期課程に在学中で、その年度内に学位申請論文を提出する見通し</p>

					<p>が立っており、研究科委員会が事前に許可した者は、春学期末を目処に中間報告書を提出することができる。</p> <p>(5) 博士論文中間報告書の受理・不受理の決定は、現代心理学研究科 Web 掲示板で発表する。発表日時は、別に定める。</p>
5/18	22	変更	II 授業（学習生活）	7 学校感染症に罹患した場合の措置について	<p>提出する書類は、本学書式の「治癒証明書」または「診断書」とする（窓口交付の申請書は廃止）。</p> <p>申請者には、各教務窓口にて配慮依頼文書を交付する（申請書および診断書もしくは治癒証明書のコピーを返却する対応の廃止）。</p>
	101		授業（学習生活・履修計画の立て方・オフィスアワー）		

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正/ 変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
7/4	42	訂正	V 履修登録 6 履修中止制度	3. 履修中止申請とならない科目	<p>【変更前】</p> <p>ただし、全学共通科目および社会学部専門教育科目に限り、長期療養等の事由により、審査のうえ正当であると認められた場合は、この限りではない。</p> <p>↓</p> <p>【変更後】</p> <p>ただし、全学共通科目および現代心理学部専門教育科目に限り、長期療養等の事由により、審査のうえ正当であると認められた場合は、この限りではない。</p>
9/2	147	訂正	博士課程後期課程 履修規定その他注意事項 全専攻	IV 試験・成績	<p>秋学期科目および通年科目の成績発表時期および成績表評価調査申請期間に関する記載を追記訂正。</p>

【全学共通科目】

2022年度1年次入学者向け履修要項(2022年度配付)訂正・変更一覧

(2025年3月19日時点 訂正・変更一覧)

訂正：冊子発行時の内容に誤記があることがわかり、後からこれを正すこと

変更：冊子発行以降に制度等に変更が生じたため、最新の情報を示すこと

＜2025年度中の訂正・変更箇所＞

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 3. スポーツ実習	スポーツスタディ	文章中の以下の下線部を変更 また、各担当者から課せられるレポート <u>を提出することにより</u> ， ↓ また、各担当者から課せられるレポート <u>やテストにより</u> ，
3/19	全 35	変更	言語系自由科目 自由科目 1. 自由科目 履修上の注意	先修規定	以下の文言を「5.先修規定」として追記 5.先修規定 原則、言語系科目の自由科目に先修科目（※） はない。但し、日本手話については先修科目が 設けられているため、履修を希望する場合は必 ず R Guide の科目表で詳細を確認すること。 （※）先修科目とは、ある科目を履修するた めの条件として、先立って、単位を修得してお くことが必要な科目をいう。
3/19	全 36	変更	言語系自由科目 自由科目 3. ドイツ語・フランス 語・スペイン語・中国 語・朝鮮語・ロシア語	2. 母語話者の 履修について	文章中の以下の下線部を追記 母語は履修してはならない。 ↓ <u>一部科目を（※）除き</u> ，母語は履修してはな らない。 <u>（※）「～語 CLILO」については、母語話者の 履修を認める。</u>

<2024 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全 11	変更	総合系科目 科目群 多彩な学び	外国語による総合系科目（F科目）	TOEIC → TOEIC®L&R 主に英語で行われるが、英語以外の外国語で開講する科目もある。その場合に求められる当該言語のレベルは別途定めるといふ旨を追記。
3/19	全 16	変更	履修登録上限 単位数	科目名変更	文章中の以下の科目名を変更 「海外インターンシップ1・2」 ↓ 「海外ワークエクスペリエンス1・2」
3/19	全 34 ～ 全 37	変更	言語系科目 自由科目	言語自由科目 カリキュラム改定	2024 年度 R Guide 掲載の 「 言語自由科目 カリキュラムの改定について 」を参照すること。

<2023 年度中の訂正・変更箇所> なし

<2022 年度中の訂正・変更箇所>

訂正日	頁	訂正／変更	訂正／変更箇所	訂正／変更項目	訂正前 → 訂正後／変更内容
3/19	全-36	訂正	言語系科目 自由科目科目表	科目名	ドイツ語総合 B 1（1）→ドイツ語総合 1 ドイツ語総合 B 1（2）→ドイツ語総合 2

以 上